

学 園 通 信



No. 246

九里学園高等学校 P T A

2011. 3. 1 発行



2年生



1年生



3年生



未来に翔け! 卒業おめでとう



心に込めた『一針』の大切さ

学校長 九里 廣志

東北芸術工科大学の片桐隆嗣教授から「『九里とみの教育』についてお聞きし、資料などもお借りしたいのですが・・・」との問い合わせがありました。何度か学校を訪ねられて、私から祖母である『とみ』についての聞き取りをなさり、また、同窓会長さんなどをも訪ねられて、山形新聞に、ほぼ一面の紙面で二回の記事に仕上げてくださったのです。

記事の中に『裁縫』について述べた文があります。そこには「裁縫は広がりを持ち、豊かさに満ちていた・・・そこには文化があり、生活の哲学や精神が内包まことされていた。」裁縫は他者に向かう営みであった・・・そこには纏まとってくれる者への愛情や思い、そして縫う者の責任感や誇りが伴っていた。「裁縫は自己と向き合う行為でもあった・・・努力や忍耐・・・喜びや達成感・・・創意工夫・・・儉約の精神・・・謙虚さ、それらがさまざまに個人の内面を形成した。」※・・・は略した所」などの言葉が連なっていました。何と『着物を縫う』営いとなみみを確実に表現した言葉なのでしょう。さすが「『つくる営み』を教える大学」の教授の文であると感心したものです。

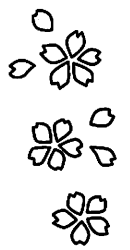
私は以前読んだ幸田文の『きもの』という小説から受けた感動を思い出していました。そこでも着物を縫う作業が、単なる知識や作業ではなく、片桐先生の書かれたように、自己表現のための、また社会で共に生きる営みであるとの思いが綴られて

いたのです。そして、両者に共通する文が次に続いていたこととで、今に至る日本の教育のあり方が大きな問題を抱えていることを再確認したのでした。

その文は次のようなものでした。「・・・しかしながら、そうした裁縫は公教育の整備とともに変容していく・・・その結果、つけの手段として扱われ、その豊かさを失う。そして、社会性や他者性を失ってゆくのである。」

今私たちにとって、被服などの『家庭科』の授業はどのような位置づけにあるのでしょうか。「受験に必要な無い、余り勉強しなくても良い教科」、そんな意識が多くの人たちにはあるのではないのでしょうか。そうではないのです。被服、調理、家庭生活、保育・・・、『家庭科』で学ばざるまざまな内容は、まさに社会で他者と共に豊かに生きることを学ぶ教科なのです。愛する他者のために思いながら人生の営みを豊かにし、心を豊かにする教科なのです。そして私たちにつながる文化を知り、続く人たちに伝えてゆく、素晴らしいテーマを持った教科であることを、あらためて認識したいものです。

共に生きる喜びを「心に込めた一針」に託す、卒業してからもそんな生活をもう一度考えてみませんか？



ご卒業おめでとう



九里学園での三年間

PTA会長 洞内 清人

三年生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。九里学園に入學してから有意義な三年間を過ごし、無事卒業式を迎えられる皆さんの頑張り、心から拍手を送ります。振り返ってみていかがでしたか。それぞれの将来の進路に向かった勉強、生徒会活動、放課後の部活動・愛好会の活動。皆さん、それぞれに思い出します。これからそれぞれの進路にそれぞれで進まれると思います。期待も不安もある事と思いますが、皆さんが九里学園で三年間学んで身につけたことが、きっとこれからの人生において、大変大きな価値を発揮する事と思います。自信を持って前に進んでいって下さい。皆さんのこれからの人生が輝かしいものであるよう心よりエールを送ります。

縁を大切に

第一学年部会長 高梨 進

卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。この三年間で「礼」と「譲」の精神を身につけることができたことと思います。これも縁あつて九里学園高等学校に入学したからこそだと思われれます。先生、先輩、同級生、後輩との出会い全てが偶然ではなく、必然であること、今までの生き方が少しでも違っていたら巡り合わなかったはず。部活動での辛い厳しい練習に耐え仲間と共に勝利したこと、一緒に悩み苦しみ乗り越えたこと、共に笑い共に泣いたこと等、卒業を迎えた今走馬灯のように駆け巡っていることでしょう。これからも縁を大切にしてください。いろいろな人生を切り開いていかれます。様々な陰ながら応援しております。頑張れ卒業生諸君!!

「持っています!」

第二学年部会長 金子 和幸

入学したての子どもに、優しく声をかけ、色々な面で手本となつて頂きました。学校行事や部活動等、常に一生懸命に取り組む姿勢は、大きな感動であり、誇りでした。そして、三年生の保護者の皆様には、PTA、支部活動、部活動などのなかで、身近な話から、親のあり方、我が子への思いなど多岐に亘つて語り合う時間をもち、親として社会人として見識を上げさせて頂きました。親子共々心より感謝とお礼を申し上げます。最後に、日本ハムの斎藤佑樹投手は「何か持っている」ようですが、手塚千砂子さんの著書に「あなたが、持っている」と思っている多くのものを持っている。」とあります。どんなときもプラス思考で自分を信じて突き進んでください。

夢と希望、そしていのち

第三学年部会長 浅井 和

車のラジオから流れる曲、今はいないその人と会いたい。歌詞に心がからみついた。「ビルが見える教室でふたりは机並べて同じ月日を過ごした。少しの英語とバスケット、そして私はあなたと恋を覚えた。」悲しいけれどもいい曲だと思っていたが、この度の「卒業」とリンクしたとき、何とも言えぬ複雑な感情がこみ上げてきた。やっぱり、「いのち」って大事、一番だと。夢と希望をもつて、九里学園から巣立つ三年生の皆さん、卒業おめでとう。この三年間で、心に焼きついた風景、苦楽を共にした仲間、そして、いろんな学びがきつとあつたはず。支え、導いてくださった多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、清く、正しく、強く生きてほしい。九里の誇りを胸に!

卒業おめでとう

～ 希望に満ちた新しい舞台へ ～

INTO THE NEW WORLD

第三学年主任 井澤 治



みなさんの高校時代三年の間に世の中は大きく変化しました。

リーマンショックのダメージやグローバルゼーションに遅れをとった日本の国際競争力低下の影響で、極端な就職難が今も続いています。また、最近の報告で各国の大学における日本人留学生の割合が年々低下していることで、世界の流れに逆行する若者の内向き志向を心配する声も聞かれます。

その点、既にみなさんの四割は本校在学中に海外生活を体験したわけで、その「貴重な経験をどう生かすか」が激変する世界を乗り切る大きな鍵になると思います。

就職でも進学でも、みなさんが今後学ぶべきことは山ほどあります。四月からの新生活はあわただしい毎日になると思いますが、常に広い視野に立った考えや行動ができることを期待しています。

ご卒業おめでとうございます…
みんな三年間よく頑張りました。

「出会い」に期待をこめて

三年副担任 町田 悦子



三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

いよいよ皆さんは三年間の高校生活を終え、四月からは、今までとは違う新しい生活が始まります。どんな毎日になっていくのか、楽しみでもあり不安でもありと少しばかり複雑な心境かもしれません。それはお家の方も同じ思いのほすです。

就職であれ進学であれ、皆さんはこれからたくさんの人と貴重な出会いをするでしょう。「出会い」はきつと皆さんの人生をより豊かにしてくれるはず。人との出会いだけでなく、物・時間・空間、全ての出会いが皆さんにとって意味あるものになるよう、これからも力強く歩んでください。それは、地域社会の一員として、また世界の動向に関心を持つ頼もしい若者であることを願っています。

向き不向きより、前向きに！

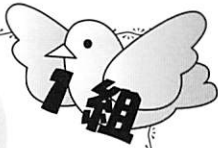
三年副担任 高橋左和明



卒業おめでとうございます。「青春」という人生で最も充実した日々を過ごした皆さんは本当に幸せだと思います。これからも九里学園で培った強い精神力と人を思いやる温かさをもって人と人の交わりを大切にしながら素晴らしい人生を送ってほしいと思います。

人間何をするにも向き不向きがあると言われますが、それよりも何よりも常に「前向き」に取り組むことが大事です。神様は乗り越えられる試練しか与えません。これからの将来を担う若者としての若さを武器に頑張つてほしいと思います。





宇宙人として生きろ！

担任 高橋 元樹



「この宇宙に人間として生まれてくることができたのは、ものすごい奇跡。そのことを忘れないように、一日一日、一瞬一瞬を、そして、出逢えた一人一人を大切にしてお過ごししていきたい。」これが、私の持論です。これからの世の中は、ますます多様化して価値観も変化していくかと思えます。常に大切なことを見失わずに、真実を見極めながら生きていってください。人生には思い通りにならないことが多いですが、九里学園で学んだ事と出会えた人を一生の宝として、幸せな人生を送ってってください。

卒業に向けて

小池 啓友

卒業を間近にひかえ、登校日数ももうかぞえるほどになりました。長いようで短かった三年間はとても充実した三年間でした。これでもすべて両親や先生、他にも多くの方々の支えがあったからです。残りわずかな時間を無駄にすることなく、支えてくださった方々の期待に応えられるよう頑張りたいです。

仲間

高橋 呈侑

卒業式まで残り一ヶ月を切り、いよいよ卒業という実感が湧いてきました。卒業までの三年間は、今振り返ると、とても短く感じられますが、学年の仲間達との楽しい思い出がたくさんありました。高校三年間での生活で、かけがえのない宝物を得ることができました。

卒業に向けて

渡部 翼

私は、社会医療法人公徳会佐藤病院から内定を頂きました。この職に就くことができたのは、家族を始めとする私に関わって下さった方々のおかげです。私は仕事と野球を両立させていかなければなりません。野球部で学んだことを生かしチームに貢献したいです。

お世話になった方々に感謝し、卒業式を迎えたいと思います。





幸あれ


 担任
 富樫 宏之

最近、車の中でラジオから流れたアーティスト「BUMP OF CHICKEN」の『車輪の唄』というのがあった。なんとなく良い唄だったのでメモを取った。ユーチューブで聞き続けると唄にはまった。機会あったらぜひ聴いてみて。この歌を聴くと、胸が甘酸っぱくなるような、ぐっと涙がこぼれるような…そんな青春を送ってください。

家族を 友を そして 自分自身を大切に。

君たちの未来に幸あれ

【決して離すな。共に歩み、差し伸べてくれる人(友)の手を】



感謝

遠藤 尚

今日までの三年間で学んだことは、たくさんあります。その中でも人に感謝する気持が一番大事なことだと学びました。社会に出てから人とかわかることが増えてくる中で、感謝する場面が多くなると思います。一生の学ぶものの中で私は感謝する気持ちが一番大切なことだと思います。

思い出!

坂野 雄也

私の九里での思い出は、一年での研修旅行でオーストラリアに行ったことです。私は、初めての海外旅行でしたのでとても心配でした。しかしみんなとすごしているうちに心配もなくなりとても楽しく活動することができました。そしてこの旅行でいろいろなことを学ぶ事ができました。これが私の思い出です。

就活

杉本 豪

就職氷河期ということで、一人の就活に対する意識が違い皆真剣になって取り組んでいた。夏休みも学校へ行き勉強をして、面接練習では一つ一つの質問に答えられるように練習をした。就職試験では勉強と面接練習をしたこともあり、全力で取り組むことができました。





礼と譲を胸に：



担任
高橋 直子

初めての卒業担任。卒業生のみならず、特に三組のみんなが愛おしくて、うまく言葉にできません。真面目で正直で愉快で優しい人たちです。こんなに素晴らしいクラスを担当ができ、温かい学年の一員であることを誇りに思います。九里学園で教員になって良かったな〜と心から思っています。

保護者の皆様には、感謝と謝罪と恐縮…。至らない点はわかりでしたが、最後までありがとうございます。

九里学園で過ごした三年間に自信を持ち、社会で活躍してください！

礼 譲

ありがとう

島貫 裕子

九里で過ごした三年間は、とても充実した日々でした。特に今年の一年はとてつもない早さで過ぎ去ってしまいました。生徒会行事ではたくさんの思い出ができました。また進路では自分の進みたい道に向かって自信を持って歩み出すことが出来ました。今まで支えて下さったすべての方々本当にありがとうございました。

にゃおこクラス

須藤 香織

初めは、このクラスに馴染めるのかという不安がありました。皆フレンドリーでいつも笑い声が絶えないくらいにぎやかでした。私の誕生日には、黒板いっぱいメッセージと皆からのバースデーソングで祝ってくれてとても感動しました。私は、このクラスで一年間を過ごせて幸せでした☆

感謝

高橋 幸

高校生活最後の一年はあっという間に過ぎていきました。学年行事の庄内旅行やクラスマッチ、九里祭、体育祭などで団結することが出来ました。また、三年間でつちかかってきた忍耐力や行動力を生かしてこれから頑張っていきたいと思えます。今までありがとうございました。





関わりを大切に!!



担任
鈴木 幸英

いろいろな事があつた三年間。楽しかった事や辛かった事……卒業を迎え、今となっては全てがいい思い出になりつつあるでしょう。ただ、その思い出の一つ一つには、たくさんの人との関わりがあつて、君達は大きく成長したのだと言う事を忘れないで下さい。人間は一人では生きられません。関わりがあるからこそ、豊かな人生が送れます。この「関わり」を大切に、これからの人生をあせらず自分のペースで進んで下さい。

関わり

私の高校教員としての初めての卒業生のみなさん、卒業おめでとう!

私の誇り

清田 真央

学校生活の常を中心であった部活動では、自分の可能性を広げることが出来たように思います。演劇部で得たものは他に変えようのない財産です。

また、九里祭実行委員会や弁論大会など、自分を成長させてくれたものはたくさんあります。九里学園で生活し、卒業できたことは私の誇りです。

ありがとう

佐藤 穂波

九里学園に入学し、たくさん学習をして知識を得ることが出来たのは先生方の真剣なご指導のおかげだと思います。卒業してもその学びは忘れず自分の力にしていきたい。今後の進路に役立てていきたいです。そして三年四組で過ごした、たくさんさんの思い出に誇りを持ち卒業しても胸を張って新しい道を切り開いていきたいと思っています。

仲間と過ごした三年間

鈴木沙有理

卒業を間近に控え、改めて三年間を振り返ってみると、仲間を支えられた、三年間だったと思います。仲間がいたからこそ、最高の学園生活を送れたのだと思います。仲間と過ごした三年間は私の宝物です。卒業して、それぞれ違う道へ進みますが、新しい生活を頑張りたいと思います。





四月七日の決意
見事 達成!
全員に幸あれと願う。



担任
吉田貴美子

『さあ、今日から一〇〇%全力で戦おう!』勝手に走り出した暴走ぎみの三十二人乗り列車(よしきみ号)に乗せられて、進路達成という目的地と終着駅である三月三日の卒業式に向かって全力で走ってきました。夏の特訓、模擬店、笑いあり、涙あり、なんだかんだ全員よく『頑張った』、よく我慢した』につきます。担任の心をくすぐる突っ込み会話で大爆笑した日もありましたね。明るく素直で団結心のある生徒たちに囲まれて、本当に幸せな一年でした。多くの方々のご支援とご家族の応援に深く感謝しております。

今日まで本当にありがとうございました。



私の恩返し

黄木 久美

三年間不自由なく通わせてくれた両親。毎日化粧バッチリの私に「あきらめた」と言いながら最後まで面倒を見てくれた担任よしきみ先生。どんな時も私の味方になってくれたかけがえのない仲間達に出逢えて私は幸せでした。これからはプロの料理人になり、みんなに恩返しします!

卒業。そしてこれから。

大谷 美穂

卒業式まで残り少なくなってきました。私は、卒業式を迎えるまでの間、残り少ない高校生活を有意義に過ごし、今まで色んな人に助けられたので感謝の気持ちを持ちながら生活したいです。そして、卒業後は、社会人としての意識を持って過ごしていきたいです。

学び舎

佐藤 香

私は正直あまり学校というものが好きではなかったのですが、九里学園で様々な事を体験し、個性豊かな先生方・友人達と出会えて些細な日常の中からも多くを学ぶ事ができました。まさに私にとって最高の学び舎です。これからの生活でも九里で学んだ事を生かして頑張ろうと思います。





いざ、旅立ちの時

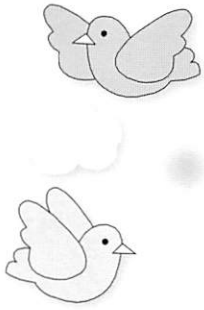


担任

片平 淳

卒業される君達とは、二年生からお世話になりました。一年生の時は授業を持ったこともない学年で最初は不安もありましたが、ここまで学年団の一員として、そして六組の担任として、みんなに支えられたからこそやって来られたのだと思います。感謝します。

三年六組は三年間同じメンバーであり、お互い気の知れた仲間です。毎日がすごく楽しかったのではないのでしょうか。またどこかで全員で再会できる時を切に願っています。プロコース四期生、卒業おめでとう。そして、また会える日まで少しだけ「さようなら」。



ありがとう

浅井 智佐

私は、たくさんの方の支えのおかげで駆け抜けてきた三年間を送った。陸上競技に勉強にと、明け暮れる私を陰で力強く支え続けてくれた両親。進路実現に向け全力で応援して下さいました先生方。技術も人間性も教えて下さった顧問の先生方。共に歩んだ仲間。全ての人に感謝して私は卒業に向かいたい。

高校生活

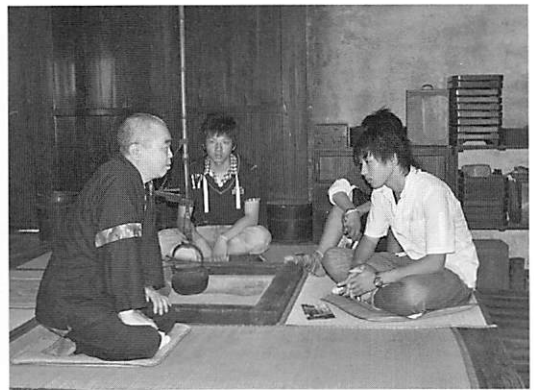
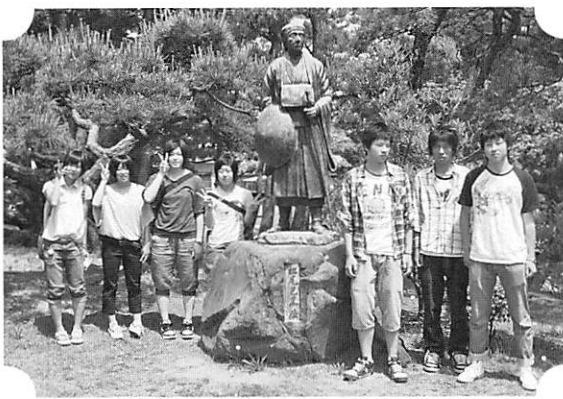
小関 竜哉

私の高校生活は、あつという間でした。私が卒業できたのは、家族、先生方のおかげだと思います。九里に入学したときは、卒業のこととは、全く考えていませんでした。もうすぐ卒業だといっても、やはり自覚はありません。遊びほうけて、雑な高校生活でしたが、卒業後は自力で頑張ろうと思います。

九里学園での生活を通して得たもの

戸屋 雄大

礼と譲を重んじる九里学園の学習生活を通して、私は自己の確立の重要性を学びました。自分の考えをしっかりと主張しつつも、相手を尊重し、同時にそれを自らの糧とすること、そして積み重ねてきた経験を常に十二分の力で発揮し、周りの人々を幸せにするということをかけながら、これからの人生を歩んでいきます。



●3学年行事庄内研修旅行で…

いつもは制服をきちんと着こなせていない生徒たち。朝グラウンドに集合している姿は!?
「んっ?」 「私服のほうがずっと普通の高校生らしいじゃん!」 井澤 治

●2年次、研修旅行の時期にちょうどインフルエンザが流行っていました。生徒たちはインフルエンザに罹ったらどうしようかと不安な日々。そんなとき生徒の間で「もし旅行先で熱出たら、どの先生に看病してもらいたい?」という話題が。何人かの先生の名前が挙がる中、「井澤先生は?」「あ~!!!いい!!優しく見守ってくれそう!!」「確かに~!!」「井澤先生いい!」と、井澤先生がダントツ人気。学年主任を慕う生徒をみて、私もなんだか嬉しくなり、心が和んだ一瞬でした。

高橋 直子

あれや
これや

●ハワイ研修での帰路、ホノルル空港で乗り継ぎ時の珍事件。

ホノルル発成田行機内での財布紛失事件。

「平井 堅 POP STAR」メイド姿の文化祭

この三つは一生忘れられない。 片平 淳

のエピソード

●みんなは知っている

- ・黒板が汚れていると、朝の登校後きれいにしてくれていた○君
- ・いつも最後にハウスの電気を消していく○君
- ・クラスマッチに向けて、昼休み本気で練習していたチーム○
- ・体育祭に向けて、体力を取り戻そうと夜一人でトレーニングしていた○君
- ・クラスの困りごとがあると“なんとかなっぺ”と言い、なんとかした○君
- ・“じゃがりこ”が好きでいつも持ってきて回りを散らかす○君
- ・始業チャイムと同時に“行くべ”と声をかけみんなで遅れてみんなで注意を受ける君達
- ・“オレじゃねー”と言う言葉に頭にきて叱った後に“先生気にすんな、あいつも分かっているから”と、そっと言ってくれる心優しい○君

●俺は知っている

人の気持ちを汲むことの大切さを知っている君たちを
人のために尽くす事の大切さを分かっている君たちを
知っている君たち 分かっている君たち 社会で大人と共に実行しよう
ようこそ!俺たちのフィールドへ 富樫 宏之

あれや
これや

- 全員でやったトイレ掃除、手袋が破れて素手状態に……でも「そんなの関係ない!」ってこれでもかで磨いた姿は凄かった。
- ・芸術鑑賞で「柿崎さん!修学旅行中にバットで素振り」翌日の庄内旅行に……なんと……柿崎さんが! 大谷と神田が海岸で夕日を背に激しく素振りを……誰も彼女らを邪魔できなかった。あの時ほど部活で熱くなることの素晴らしいを感じた日はなかった。
- ・体育祭にむけて猛練習した19人18脚競争。本番は好タイムで1位のはずだった。……メンバーの正面に立ち担任と大谷委員長で、バックランで好リードする作戦で臨んだ。「いけるっ!凄く早い!これならいけるっ!」と思った瞬間。メンバーは超スピードにのる。……リードしていたはずの担任は危険を感じ運よくよけきったが、大谷委員長は逃げそびれメンバーに『ひかれる』。ゴール手前で大谷委員長を踏んづけながらも前進し続けるメンバー……しかし……時すでに遅し、悔しいやら、大谷委員長は謝って泣くのは大爆笑で終わる。真剣ってやっぱり許せる。

吉田貴美子

●【タイトル】元1年2組のメンバーしか知らないあのときの事。

3年を振り返ると、本当にいろいろなことがありすぎて思い出すのも大変です。生徒たちも私も「一日一日必死に生きてきた」といった感じをしています。その中でも特に必死だったのは、やはり、あの時でしょう……。今だから笑える話です。

時は、2008年12月5日。場所は、オーストラリア。我々は、前日の夜8時に成田空港を飛び立ち、約10時間後の朝7時55分、シドニー空港に降り立った。すぐにバスに乗り、3時間半かけてブルーマウンテンズにある研修宿泊施設まで移動し、ハンバーガーのような軽食をとった。そして、2時にオーストラリア人の現地ガイド二人の案内で野外キャンプ場へ向けてブッシュウォークを開始した。ユーカリの木が生い茂る森の中、草むらのような道なき道をひたすら歩いた。よく晴れて空気が乾いていた。当然喉も渴き、持ってきた水もほとんど底をついた。日が暮れかけた頃、ガイドが急に立ち止まり、そして、なにやらぶつぶつ言い出し、携帯電話をかけようとしているがつかまらない。聞こえてくる英単語は「lost」だった。そう、「迷った」ということだ。生徒たち22名と私は、疲れてへとへとだった。夕暮れ時になり、ここで軽装のままテントも寝袋もなく野宿しなければならないのか……。とあきらめかけたそのとき、別のスタッフのグレッグが迎えに来てくれてキャンプ地まで案内してくれた。なんとが無事にキャンプ地に着いたのは、夜七時半だった。それから、テントを設置したり、火を起こしたりしてバーベキューが始まったのだが、ソーセージが焼けるまで小出しにお菓子などが少しずつ出てくるだけで、ものすごく空腹の我々にはとてつもなく長い時間を感じられた。ソーセージが焼けて、焼け焦げたパンには喜んで食べることができたのは、8時半ごろだった。みんなあっという間に食べ終わってしまい、物足りなさを感じていた。そのとき、グレッグにこっそり呼ばれ、これからサプライズで「カンガルーの肉」を焼くことを知らされた。「よかった。みんな喜ぶだろう……。」とほっとした。しかし、これがこの後の大惨事の原因になるとは思いもしなかった。腹をすかせた生徒が、筋張った固いカンガルーの肉をのどにつまらせてしまうなんて……。救急車を呼んだが、キャンプ地から一番近い道路まで来るのに1時間かかり、さらにその道路まで真っ暗闇の上り下りの激しい悪路をオフロードカーに生徒を寝かせて体を支えながら30分移動し、そこから救急車で病院へ一時間かけて運び、病院に着いたのは、深夜1時ごろだった。幸いのに詰まった肉は救急車が来る前に取れて、大事に至らなくて本当によかったが、すべてが終わってキャンプ地に戻ったのは深夜3時ごろだった。夜空にはオリオン座がきれいに輝いていた。大自然の中で生きる厳しさを体験したとても長い一日だった。高橋 元樹

卒業おめでとう！

保護者からのメッセージ

高みを目指せ

一組保護者 小池 幸善

ご卒業おめでとうございます。三年間、それぞれに辛い苦しい事も有ったと思いますが、春季東北地区高校野球県大会で、甲子園連続出場の酒田南に勝利した時のみんなの笑顔が今でも浮かびます。チーム一丸となって高みを目指した成果です。進む道は様々ですが、あの笑顔を、今後もたくさん見せてくれる事を期待しています。

未来へ

二組保護者 金子 敏子

三年間を共に過ごし、そしてこの春、それぞれの未来へ飛び立っていくあなた達は、一人一人輝いています。そしてあなた達を見守る、先生方や家族や友人達のたくさんの目を忘れないでください。自分を信じて、未来を信じてください。卒業を迎えて、心から感謝します。

楽しくいきましょ

三組保護者 佐藤 好憲

皆さんご卒業おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。この三年間は、皆さんの長い人生の中の短い時間かもしれませんが、多くの思い出ができた大切な時間だったと思います。多くの人にお世話になったことを忘れず、九里学園で勉強・部活動等を行ってきたことに自信を持ち、これからの人生に活かしていただきたいと思えます。これからは、進学・就職と各自が決めた道に進まれます。いろいろ迷ったり困難に出会うことがあるかもしれませんが、ご両親・先生方がついていきますから、心配せず道を進んで下さい。そして、どうせ生きていくのなら楽しくいきましょう。

「感謝」

四組保護者 鈴木ゆみ子

卒業おめでとうございます。今まで、何度も感謝の言葉を言ってきたと思うし、これからもいろんな事で感謝を伝えることと思えます。卒業という節目に、親から子へ十八年間、成長という宝物を頂いてありがとう。そして何より生まれて来てくれて本当にありがとう。これからも、共に宝物をたくさん増やしていきます。

未来へ向かう君達へ

五組保護者 黄木 誠

ご卒業おめでとうございます。間もなく進学、就職と自分の人生に向かって一歩、歩み出されますね。楽しい事、うれしい事、時にはつらく悲しい事も訪れて来ることでしょう。でもあなたには、どんな時でも、見ていてくれる人見守ってくれている人が必ずいるのです。それを忘れないでほしいのです。がんばれ!! 未来へ向かう君達へ

「ノーブレイ・ノーエラー」

六組保護者 鈴木 実

クラスメイト七名という、一人ひとりがとても存在感のあるクラスでした。少人数だからこそ中味が濃く、学園生活の三年間が矢のように過ぎ去ったのですね。しかしこれからが真価を問われる時期、学力よりも人間力が重要になってくる時です。「ノーブレイ・ノーエラー」の精神で力強く踏み出してください。卒業おめでとう。

支部活動 報告

「三年生を激励する会」

第五支部長 太田 宏幸

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。第五支部は、米沢第五中学校卒業及び、学区地区在住の生徒さんが対象の支部構成になります。支部活動としては、「三年生を激励する会」食事をメインとし卒業のお祝いと、それぞれの進路及び、抱負や学生生活の思い出等について報告していただき、更に、保護者の方から激励の言葉や、ゲーム等やって、卒業記念品を贈呈し、更なる飛躍を誓い送り出す会が主たる行事です。卒業後、それぞれの環境の中で、コミュニケーションを図らなければならぬ部分が多々あると思います。いろいろな人と話が出来ると言うようになって欲しい意図も、生徒に

伝わる様、活動の充実を図りたいと思います。

「川西支部教育懇談会」

川西支部長 篠沢 智浩

九里学園川西支部の活動として、昨年度も行われた「川西支部教育懇親会」を、今年度も行いました。

学校長始め、進路指導課長の熊澤広二先生、支部の担当の先生を御招きし、熊澤先生より最近の就職事情、今時の若者の学校生活や、私生活及び、様々な状況をデータとともにわかりやすく説明をしてもらいました。

最近の子供、若者のタイプ別に分析したデータなどはとても面白くわかりやすかったと思います。

いずれにしても、親としては近い将来、自分の子供はどんな道に進むのか、進学なのか就職なのかまだまだ先が見えていない方もいると思われれます。

そんな中での教育懇談会なので、保護者の皆さんも熱心に聞いていたと感じ取れました。

懇談会も校長先生や担当の先生と様々な話も出来、とても意義の

ある楽しい会でした。

来年も是非ともお願いしたいと思っています。

貴重な時間を裂いて出席して頂き、校長先生、担当の先生始め参加された父兄の皆様には感謝申し上げます。

充実な一年間

南原支部長 永井 孝夫

五月二十九日 定例総会を、南原コミュニティセンターにておこないました。

六月二十九日には野球部保護者と共に、朝六時から八時までグラウンド周囲の草刈及び不要の木々の枝の切除を行いました。

十二月四日 校長先生と語る会を、南原コミュニティセンターにておこない、日頃から校長先生と語り合えないもので、南原のそばを食べ、お酒を飲み懇親を深めました。

二月三日 三年生を送る会をレストラン金剛閣で行い、テーブルマナーを開催しました。参加人数は生徒、保護者合わせて二十六名の参加で、テーブルマナーを金剛閣の方より教えて頂き、初めは少し緊張きみ

だった生徒達も時間が経つにつれて楽しく食事をしていました。

食後はビンゴゲームをして楽しい時間を過ごせたと思います。

充実した支部活動

高島支部長 遠藤 真二

高島支部では、年間三回の役員会と総会、校長先生を囲む会、年度末総会を兼ね三年生の保護者を祝う会を開催しました。

六月に総会を行い、年間行事を決定し、顔合わせを兼ねて懇親会を行いました。

十一月に九里校長先生をお招きして「校長先生を囲む会」を開催しました。保護者と校長先生が肩肘張らずに、夜遅くまで語り合うことができ大変充実した会となりました。

二月には三年生の保護者を祝う会を兼ね年度末総会を開催しました。

各行事に多数の保護者に参加して頂き、充実した年間活動を行うことができました。

平成二十二年 第三学年褒賞受賞者

() 内の数字はクラス名

学習活動優秀賞

- 遠藤 優太(1) 齋藤 充樹(1)
- 高橋 呈侑(1) 永井 達也(1)
- 米野 敬介(1) 渡部 翼(1)
- 坂野 雄也(2) 小池 李里香(3)
- 齋藤 明日美(3) 齋藤 里華(3)
- 佐藤 彩名(3) 佐藤 成美(3)
- 房間 郁恵(3) 舟山 李奈(3)
- 宮本 萌詩(3) 山田 真理(3)
- 清田 真央(4) 鈴木 沙有理(4)
- 高木 睦美(4) 瀧澤 千鶴(4)
- 新野 成美(4) 宮澤 知世(4)
- 吉田 夏実(4) 加藤 千佳(5)
- 神田 ちづる(5) 佐藤 香(5)
- 高山 友花(5) 長岡 奈緒美(5)
- 皆川 真実(5) 浅井 智佐(6)
- 黒板 里恵(6) 駒形 麻波(6)
- 鈴木 悠希(6) 雪野 翔太郎(6)

特別教育活動〈優秀賞〉

◆陸上競技部

- 佐藤 広樹(1) 廣瀬 七生(1)
- 米野 敬介(1) 齋藤 和磨(2)
- 遠藤 紗耶香(3) 柿崎 美里(4)
- 山口 怜佳(4)

◆女子テニス部

- 高山 友花(5)

◆野球部

- 小池 啓友(1) 齋藤 充樹(1)
- 佐々木 典寛(1) 佐藤 祥平(1)
- 高橋 呈侑(1) 渡部 翼(1)
- 遠藤 尚(2) 黒田 仁(2)

◆卓球部

- 遠藤 優太(1) 金子 駿人(1)
- 梁 宏博(1) 宮本 萌詩(3)

◆スキー部

- 近田 沙稀(3)
- 大丸 芽美(3)

◆水泳部

- 鈴木 悠希(6)

◆体操・山岳部

- 本田 桂(4)

◆美術部

- 山田 真理(3)

◆演劇部

- 鳥貫 裕子(3)
- 清田 真央(4)

◆吹奏楽部

- 高橋 幸(3) 齋藤 千佳(4)
- 遠藤 楓(5) 皆川 真実(5)

◆生徒会

- 皆川 賢太(1) 鳥貫 裕子(3)
- 小池 李里香(3) 戸田 瑞希(3)
- 齋藤 明日美(3) 佐藤 成美(3)
- 篠沢 美茄(3) 佐藤 千夏(3)
- 鈴木 沙有理(4) 吉田 夏実(4)
- 田中 彩香(5) 高山 友花(5)

◆保健厚生委員会

- 永井 達也(1) 瀧澤 千鶴(4)

◆図書委員会

- 山田 真理(3) 佐藤 香(5)

特別教育活動〈功労賞〉

◆陸上競技部

- 遠藤 諒人(1)
- 浅井 智佐(6)



特別教育活動〈努力賞〉

◆陸上競技部

駒形麻波(6)

◆男子バスケットボール部

青木博則(1)

◆女子バスケットボール部

佐藤成美(3) 齋藤明日美(3)
嵐田真奈(4) 加藤美咲(4)
高橋夏奈恵(5) 遠藤瑞穂(5)
長岡奈緒美(5) 吉田江里(5)
米野瑛莉香(5)

◆バレーボール部

篠沢美茄(3) 戸田瑞希(3)
佐藤千夏(3) 高橋奏(4)
齋藤千聖(5)

◆男子テニス部

永井達也(1) 小方慎吾(2)

◆野球部

三浦佑介(1) 渡部健太郎(1)
吉田亜美(4) 高橋舞(5)

◆ソフトボール部

佐藤彩名(3) 尾形未来(4)
宮澤知世(4) 大谷美穂(5)
加藤千佳(5) 神田ちづる(5)
佐藤菜津美(5) 洞内幸(5)

◆弓道部

加藤愛(3) 鈴木咲由里(3)
猪野早也香(4) 吉田夏実(4)
花山絵梨香(4) 雪野翔太郎(6)

◆バドミントン部

佐藤匠(1) 黒田紗恵子(3)
後藤清奈(4) 平田あゆみ(5)
相田ちひろ(5) 黒板里恵(6)

◆サッカー部

遠藤拓也(1) 長部翔矢(1)
吉田昂平(1)

◆ダンス部

鈴木沙有理(4) 高木睦美(4)
瀧澤千鶴(4) 川崎実姫(5)

◆英語部

張継民(1)

◆演劇部

小池李里香(3)
須藤加奈(5)

◆茶道部

鈴木克典(2) 桑原圭孝(2)
保坂美里(3) 倉歩美(3)
伊藤瑞姫(5)

◆生活科学部

阿部千智(4)

三年間皆勤賞

遠藤優太(1) 遠藤尚(2)
齋藤明日美(3) 佐藤恭子(3)
舟山李奈(3) 尾形未来(4)
鈴木沙有理(4) 瀧澤千鶴(4)
神田ちづる(5) 高山友花(5)
米野瑛莉香(5) 雪野翔太郎(6)

一年間皆勤賞

加藤尚寛(1) 佐藤広樹(1)
高橋呈侑(1) 渡部健太郎(1)
渡部直道(1) 坂野雄也(2)
鈴木瞭平(2) 黒田紗恵子(3)
小池李里香(3) 近田沙稀(3)
佐藤彩名(3) 鈴木咲由里(3)
大丸芽美(3) 高橋幸(3)
戸田瑞希(3) 保坂美里(3)
宮本萌詩(3) 柿崎美里(4)
清田真央(4) 佐藤秀美(4)
高木睦美(4) 高橋奏(4)
宮澤知世(4) 吉田亜美(4)
遠藤楓(5) 遠藤瑞穂(5)
川崎実姫(5) 鈴木賀菜(5)
須藤加奈(5) 田中彩香(5)

読書感想文優秀賞

長岡奈緒美(5) 洞内幸(5)
皆川真実(5) 吉田江里(5)
鈴木悠希(6)
山田真理(3) 島貫裕子(3)
神田ちづる(5) 駒形麻波(6)



平成二十二年 進路状況について

進路指導課長 熊澤 広二

今年度の進路希望は、進学が六四％就職三六％と、昨年に比べて就職の割合が四％増加しています。

大学・短大進学は、全体の三割を占め、分野は文系が七割、理系が三割となっております。学部は多岐に亘っています。入試方法では、AOや公募、指定校推薦の割合が少し減り、プロセスを中心にセンター試験に臨み、国公立大学を目指す一般入試受験の割合が増えています。このため、卒業式後の決定者が増え、年度末までのさめ細かい進路指導をしていく予定です。

専修学校進学は、全体の四割近くを占め、分野は、医療看護や衛生(調理)、商業実務の希望が増えています。専門学校への進学は、将来の職業をしっかりと定め、学校見学を必ず行って間違いのない学校選択が出来る事を指導の中心に置いています。

就職は、厳しい状況が続く中、県内の求人は、生産工程を中心に二割ほど増加しました。県外は、反対に減少しましたが、本校との信

頼関係が厚い企業から今年も求人をご頂くことができました。このように厳しい環境の中でも本校生徒は就職活動に熱心に励み、例年通りの成果を達成できました。進学、就職とも、生徒の皆さんの進路実現への真剣な取り組みと保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。また、担任はじめ三年の先生方の親身な指導と全校

上げての指導で目標の進路実現達成にたどり着いたものと思います。しかしながら、いずれの進路においても三年生になってからの準備や努力だけでは、満足な結果は得られません。在校生の皆さんは、一二年次からしっかりと自分の将来を考え、明確な目標を持つて進路実現のための準備に入ることが大切です。

◆H22年度卒業生の進路別状況◆

平成23年2月5日現在

	就職希望者			進学希望者				家事その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	20	1	21	16	1	9	26	1	48
女子	14	15	29	10	10	41	61	6	96
合計	34	16	50	26	11	50	87	7	144

◆就職関係(内定状況)◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校数	学校数	緑故	緑故	学校数	学校数	緑故	緑故	学校数	学校数	緑故	緑故
男子	18	18	2	1	1	1	0	0	19	19	2	1
女子	14	14	0	0	15	15	0	0	29	29	0	0
合計	32	32	2	1	16	16	0	0	48	48	2	1
内定率%	100%				100%				100%			

◆進学関係(合格状況)◆

	大 学		短 大		専 修 各 種		合 計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	16	6	1	1	9	8	26	15
女子	10	9	10	10	41	38	61	57
合計	26	15	11	11	50	46	87	72
合格率%	58%		100%		92%		83%	

編集後記

九里で出会えた仲間とのかけがえない思い出を胸に、学生としてまた社会人として新たな一歩を踏み出そうとしている三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。どうぞ、どんな時も笑顔を保つていてください。笑顔は人を幸せにします。これからのあなたが笑顔で、そしてあなたの笑顔でまわりの人が幸せになれるよう、心から願っています。

広報委員の一人として三年間、九里祭・体育祭・研修旅行等の学校行事に広報活動を通して関わってこられたことを本当に嬉しく思います。学園通信の編集作業は、担当の先生方や委員のみなさんと一緒に和気あいあいの中進められ、また、原稿をお寄せいただいた多くの方たちのご協力で毎号お届けできたことに深く感謝いたします。ありがとうございます。これからも、子どもたちの笑顔、一所懸命な姿、とびきりの笑顔をお伝えできる学校と家庭をつなぐ学園通信となるよう願っています。

(須藤 輝美)